

り、独立革命の像は複数の視点から把握できる異なる様相が絡み合うものとなる。アメリカ国民は再定義され、より豊富な意味内容をもち始める。同時にそれは、白人の視点のみを採用した一元的な歴史像では把握できなかった、白人たちの思想の内部にある諸矛盾を批判的に浮き上がらせることになった。

1990年代教科書における、過去に対するこうした批判的な記述で重視されているのは、一つには普遍的な人権の概念である。たとえば日系人の強制収容所の実態に関しても、「アメリカ国民としての権利」を剥奪されたことを説明するだけであれば、1980年代の教科書のように「収容所では、日系アメリカ人たちは鉄条網の中で生活しなくてはならなかった。住居は粗末なものであった」⁽¹⁸⁾とだけ記せば十分であった。しかし1990年代の教科書が問題としているのは社会的な正義であり、1世も含めた人びとが被った基本的人権の剥奪である。そのため収容所経験については日常生活の細部にわたった描写が行われている⁽¹⁹⁾。

また、ホスト社会のマジョリティからの差別意識の結果として、新来者の社会的振る舞いが決定されているとの論理を、直截的に表明する記述もある。

ラテンアメリカ、カリブ諸国、メキシコからやってきた移民者たちは、この国に入るや否定的なステレオタイプに直面した。……世論調査が示すところによれば、「怠け者」「非愛国的」というラテン系住民に対する古いステレオタイプがラテン系以外の人びとによって未だに保持されていた。偏見と、技術を必要としない仕事の不足とが、ラテン系移民者を経済的・社会的階層の最下層におし留めているのである⁽²⁰⁾。

この説明においては、あるエスニー⁽²¹⁾の特徴の原因はその集団の「本質」にではなく、諸集団間の社会的関係の構造に求められる。エスニシティが社会的に構成される可塑的なものであるとする説明も、1990年代の教科書に散見できるものである。

ただしその上で重要なのは、1990年代教科書でも歴史を叙述するナショナルな枠組みは依然、対象を限定している点である。その端的な例として、中南米から合衆国内に強制収容された日系南米人に関する情報が教科書には登場してこないことが挙げられる。第二次世界大戦中、合衆国政府はアメリカ圏全域から枢軸系の「危険分子」を排除するため、2118名の日系人を中南米から合衆国に連行し収

容した⁽²²⁾。これに対して補償と政府の謝罪を請求する運動が起こされ、1998年、合衆国に連行された経験をもつ日系南米人に対して、1人あたり5000ドルながら補償と謝罪の受給資格を認める司法判断が確定した。これによって、強制収容時にも補償執行時にも合衆国の市民権・永住権と無縁であった者が、政府による補償と謝罪を得られることとなったのである⁽²³⁾。法理念においてはナショナルな枠組みは外され、償われるべき被害の有無が司法判断の優先事項となったことになるが、教科書においては1990年代にも、この事実および1990年代を通じて行われていた日系南米人による補償請求運動の記載はない。このことは、1970年代以降の日系アメリカ人による補償請求運動が1980年代の教科書に記載されるようになり、また1988年市民自由法を1990年代のすべての教科書が掲載していることと対照的である。

以上のことを総括すると、まず1980年代から1990年代にかけて、国家主義的語りから革新的語りへの重点のシフトがあったことは確実に指摘できる。そこではエスニシティそのものを社会的構造物とみなし、エスニー間のより水平的な関係を是とする観点も生じていた。その際の叙述の根拠を普遍的人権に求める度合いも高まっていると言える。しかし他方で叙述の対象がナショナルな枠組みの内側にあるものに限定される傾向があり、その点で普遍主義は不徹底となる。

一般に、「国家主義的語り」から離れた歴史教育として想定されるのは、たとえば高橋哲哉が述べるような「偏狭な『自国史』—ナショナル・ヒストリー—の枠組みを超えていく」⁽²⁴⁾歴史叙述を採用した教育であり、そこでは歴史がナショナルリティを根拠に領域化されること自体が避けられることになる。一方、アメリカの歴史教育は常に「国民史」教育にほかならず、歴史叙述のナショナルな枠組み自体を無化したものを「ポスト・ナショナル・ヒストリー」と呼ぶのであれば、アメリカの歴史教育は1990年代においてもその範疇には収まらないものだということになる⁽²⁵⁾。

4. 日系4世のナショナルアイデンティティ

では次に、このような教育空間を経験した日系の第4世代が、自らのエスニシティとナショナルリティをどのように認識しているのかを検討したい。日系アメリカ人におけるエスニックな要素については、その重要性の低下が1980年代以降繰り返し指摘されるようになった。3世における異人種間結婚の増加と原初的紐帯